

地域でみんながふれあい支えあって自分らしく安心して暮らせるまちづくり

けせんぬま 社協だより

Nº 120 2026.2.1

発行 / 社会福祉法人
気仙沼市社会福祉協議会

QRコード
TEL 0226-22-0709
FAX 0226-22-4467



気仙沼市社協キャラクター
あかりちゃん



来て・見て・知って・楽しんで みんなでつくる住みよい地域づくりの第一歩

～ユニバーサル交流会を開催しました。～

まっくらな部屋で見えない世界を体験したり、手話やニュースポーツなどにも挑戦！障害福祉サービス事業所の「おしごとマルシェ」では、楽しくお買い物をしながら障害への理解を深め、鹿折地区ボランティアクラブのすいとんお振る舞いでほっと一息。たくさんの体験と交流を通して、地域共生社会へ一步近づいたイベントとなりました。

この広報紙は市民の皆様から寄せられた社協会費、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています





社会福祉大会等 受賞者紹介②

前号で紹介できなかつた
受賞者の方々をご紹介いた
します。

令和7年度全国社会福祉大会

令和7年11月12日於東京都台東区

【厚生労働大臣表彰】

社会福祉事業従事功労者

清水 雅惠 様

【全国社会福祉協議会会長表彰】

社会福祉法人・福祉施設功労者

浅倉 真理 様

【永年勤続功労者】

菅 佐 遠 黒 様

小野寺 原 藤 藤 澤 様

竜 恵 恵 拓 様

喜 美 美 司 様

様 様 様 様

※市内の施設の功労者の方のご紹介と
なります。



宮城県知事表彰受賞! 【唐桑こすもす会】



高齢者施設でのボランティア活動をはじめ、地域での助け合いの場づくりを長年続けてきたボランティア団体「唐桑こすもす会」は、平成16年、前会長の吉田みささんが、グループホーム「桑の実」で話し相手やお茶っこ会を始めたことをきっかけに、活動に賛同した地域の方々が集まり、発足しました。

活動当初は、お茶っこ会や敷地内の草取り、畑での野菜づくりなどを中心に取り組んできました。東日本大震災後は、仮設住宅の住民を巻き込んだ地域交流会の開催など、活動の幅を広げてきました。こうした地道な活動が評価され、今回の受賞につながりました。

現会長の梶原妙子さんは「前会長から受け継いできたこれまでの活動が評価されて大変うれしい。今後も唐桑地区のボランティア振興の一助となれれば」と話されていました。

安心して活動するために ~ボランティア保険のご案内~

日本国内において、ボランティア活動や福祉活動で、①他人に対するケガや財物損壊で損害賠償が生じた場合、②ボランティアや参加者がケガをした場合の損害を補償するものです。

○ボランティア活動保険

補償期間 当該年度（中途の場合、加入した翌日から次の3月31日まで）

保険料 Aプラン：300円 Bプラン：500円 Cプラン：700円

天災プラン：670円（地震・噴火・津波によるケガも補償） 家族プラン：800円

○ボランティア・福祉活動行事保険

補償期間 対象行事の集合から解散まで

保険料 I型（宿泊を伴わない行事） 1日当たり20名から加入できます。

A区分：30円 B区分：136円 C区分：266円 ※行事内容により保険料が異なります。

II型（宿泊を伴う行事） 1日当たり1名から加入できます。

1泊2日：225円～ 日数により保険料が異なります。※名簿の提出が必須となります。

詳しくは、気仙沼市社協（電話22-0709）へお問い合わせください。



津谷地区住民懇談会

みんなで支え合う地域づくりを進めるため、津谷地区内の3か所（浜地域、山田地域、馬籠地域）で懇談会が開かれ、地域の現状や日頃の取り組みについて意見交換が行われました。

浜地域では本吉地域包括支援センター職員による「介護保険と認知症」をテーマとした研修会を兼ねて開催され、制度や認知症への関わり方について理解を深め、地域で共有する機会となりました。

山田地域と馬籠地域では、本会からの情報提供を踏まえ、世帯数減少の影響や、地域内の空き家、休耕田、獣害など の現状や対応状況について意見交換が行われました。

このうち、山田地域では、地域独自の移送支援サービスについても話題となり、運転手募集の周知とあわせて、その必要性を改めて共有しました。



【12.11 浜地域懇談会の様子】

…みんなで考える、これからの地域づくり…

地域住民の皆さんによる懇談会は、日頃感じていることや地域の課題、取り組みを共有し、これからより良い地域づくりを考える大切な機会です。お住まいの地域で開催される際には、ぜひご参加ください。

宮城いきいき学園 令和8年4月 入学生募集中

- ◆対象…県内に居住の55歳以上の方
- ◆場所…気仙沼・本吉校 気仙沼中央公民館（気仙沼市内の脇1-16-6）
- ◆募集人数…20名
- ◆学習日…年間20日（2学年制）
- ◆内容…生きがいと健康づくりを目指し、地域社会に貢献できる人材として必要な内容を身につけます。
- ◆募集期間…令和8年3月31日（火）まで
- ◆入学金…5,000円
- ◆受講料…年間20,000円
- ◆申込書は、各市町村の高齢者福祉担当課及び生涯学習担当課並びに市町村社会福祉協議会等、また、下記URLからも入手できます。
二次元バーコードからの申込も可。HP (<http://www.miyagi-sfk.net/>)
- ◆申込み・お問合せ…宮城県社会福祉協議会 いきがい推進センター
(電話022-225-8477)





令和7年度 嵩末たすけあい募金による配分についてのお知らせ

今年度も市民の皆様からたくさんの善意をお寄せいただき、心より感謝いたします。

子どもから高齢者までの幅広い分野に対して、地域での交流を深める事業や、地域の課題解決に向けた活動に取り組まれるよう配分することとしております。

なお、皆様からご協力いただきました募金総額につきましては改めて本紙面でご報告させていただきます。



令和7年度配分の内容

個別配分

- 在宅長期寝たきり等
要介護世帯
- 長期入院者
(市内の病院に1年以上
入院されている方)



福祉団体等福祉活動への配分

- 地区社会福祉協議会活動事業助成
- 障害者福祉施設及び事業所等交流事業助成
- 新入学児童への安心・安全の支援事業
- 障害・母子等福祉団体、家族会等事業助成
- 子育て支援事業助成
- フードバンク事業助成
- 地域・子ども食堂実施団体助成
- 地域見守り活動支援事業



宮城県共同募金会 赤い羽根共同募金

地域の課題解決 「みやぎチャレンジプロジェクト」

宮城県共同募金会では、地域の課題解決に取り組むための活動費を、エントリーした団体が主体となって、個人や企業に自らの活動を伝えながら募金を呼びかける「みやぎチャレンジプロジェクト」を進めています。気仙沼市内からは、今回紹介の3団体がエントリーしています。



冒険遊び場による子どもの居場所づくりin気仙沼
一般社団法人
気仙沼あそびーばーの会

〒988-0263
気仙沼市本吉町洞沢133
Tel.0226-48-5564



不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所づくり
一般社団法人
フリースペースつなぎ

〒988-0183
気仙沼市赤岩泥ノ木19-1
Tel.0226-28-9181



気仙沼の自然に学ぶ『海と震災の記憶を繋ぐ』生きる力を育む活動
特定非営利活動法人
浜わらす

〒988-0283
気仙沼市本吉町大森8番地3
Tel.0226-25-7701

応援よろしくお願いします

募金の募集期間は令和8年2月28日までです。

このプロジェクトについて詳しく知りたい方、活動を応援したい方は、宮城県共同募金会のホームページでご覧になっていただくか、それぞれの団体まで直接ご連絡をお願いします。



社会福祉法人宮城県共同募金会ホームページ
akaihane-miyagi.or.jp





「宮城シニアの地域活動・交流セミナー」連携企画

これから地域とわたしの関わり方を考えるフォーラム

地域のつながりや支え合いの大切さを感じながら、からの地域との関わり方と一緒に考えます。

日 時：2月3日(火) 午後1時～3時
場 所：気仙沼中央公民館(スタジオ2-1・2-2)

参加無料
定員60名
(先着順)

話題提供

「支え合い・助け合いの地域づくりと、
一人ひとりの関わり方」

講師 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科

教授 高橋誠一氏

活動事例発表

～私たちがこの活動を始めたワケ
今、こんな活動をしています～

●地域食堂スマイル

●東中才2区ひだまりの会ラジオ体操

《申込み・お問合せ》 気仙沼市社協（電話22-0709）

あなたの力が地域を守る 「災害ボランティアセンター設置・運営研修」 — 開催のご案内 —

近年頻発する大雨や地震等の大きな災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの設置・運営について学ぶ研修会を開催します。

災害が起きた時に備え、被災地でできるボランティア活動や、地域のつながりを大切にした防災活動など、災害ボランティアセンターについて学んでみませんか？どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

日 時：令和8年3月28日(土) 午後1時30分～午後3時30分

会 場：市民福祉センター「やすらぎ」

内 容：近年の災害ボランティアセンターの運営についての
講話や、設置運営体験など

講 師：ウェザーハート災害福祉事務所
代表 千川原 公彦氏

参加費：無料

申込方法：3月19日(木)まで、気仙沼市社協（電話22-0709）へお申し込みください。（要事前申込）





日常生活自立支援事業

まもりーぶ

～あなたの暮らしの安心のために～

日常生活自立支援事業とは、高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや、生活費などの日常的な金銭管理のお手伝いをし、その生活を支える事業です。

福祉サービスを利用したいが、手続きがわからない…

書類がたくさんくるけどどう手続きしたらいいかわからない…

お金や通帳を片付けた場所をよく忘れてしまうから心配…

お金の支払いでいつも迷ってしまう…

そんな時は

**気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター
(まもりーぶ)**

〒988-0066 気仙沼市東新城 2-1-2 気仙沼市社会福祉協議会内 電話 23-1182

どんなことをしてくれるの？

① 利用援助サービス 〈基本事業〉

福祉サービスの利用手続きや市役所等から届いた書類確認のお手伝いをします。

② 金銭管理サービス 〈オプション〉

生活に必要なお金の出し入れや、公共料金等の支払いをお手伝いします。

③ あずかりサービス 〈オプション〉

通帳や印鑑など、大切な書類を安全な場所でお預かりします。

「まもりーぶ」は、
権利を「まもる」の意味と
信頼を意味する「びりーぶ」を
組み合わせた
宮城県だけの呼称です。

どんな人が利用できるの？

- 認知症や知的・精神障がいなどにより
福祉サービスの利用やお金の管理など
暮らしの中で不安のある方。

- 判断するとき支援が必要な方。
- 「まもりーぶ」の契約内容を理解できる方。
- 「まもりーぶ」の利用意思がある方。

利用申込から契約までは、1ヶ月半から2ヶ月ほどかかります。



配食サービス事業 令和8年度 調理委託業者の募集

本会では、気仙沼市からの委託を受け、見守りが必要な一人暮らし高齢者等を対象に「配食サービス」を実施しています。この度、令和8年度の調理業者を募集しますので、希望される業者は2月13日(金)までにご連絡ください。

《お問合せ》 気仙沼市社協 (電話 22-0709)



内 容 高齢者向け弁当

地 域 気仙沼市内全域

委託料 1食600円(税込)

期 間 令和8年4月1日～
令和9年3月31日

地 域	曜 日	時 間	食数(1回)
気仙沼	火・木・金	10:00	1～10食
唐桑	火・金	10:15	1～5食
本吉	木	10:30	5～15食

使用済み切手をお届けしました!

市民の皆さまからお預かりした使用済み切手を、「公益財団法人日本キリスト教海外医療協力会(JCOS)」へお届けしました。震災後から現在までにお寄せいただいた切手は、合計で約160kgにのぼります。

お預かりした切手は、JCOSで整理され、切手を収集しているコレクターの方に買い取られます。その換金されたお金は、アジア・アフリカなどの国々へ医師や看護師を派遣する事業や、現地で保健医療を学びたい人への奨学金などに活用されています。

公益財団法人

日本キリスト教海外医療協力会 (JCOS)

JCOSは、医療を通じた国際協力を
行う団体です。詳しくは、ホームページ
をご覧ください。

[<https://www.jocs.or.jp/>]



収集ボランティアにご協力ください!

気仙沼市社協では、使用済み切手や書き損じはがきを収集ボランティアとしてお預かりしています。

* プルタブ・ペットボトルキャップは受け付けておりません。

使用済み切手の集め方

○切手は、周りを1cmくらい残して切って下さい。

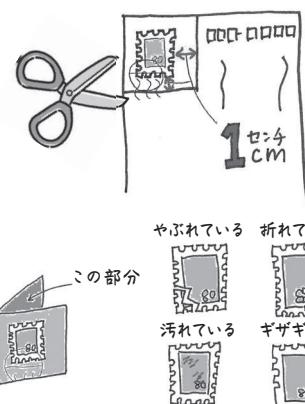
*はがす必要はありません。

○封筒の切手の裏側の紙は切り取っておいてください。

○やぶれたもの、折れたもの、汚れたもの、ギザギザが
欠けたものは取り除いてください。

○枚数を数えたり、記念切手と分ける必要はありません。

○外国の切手は分けてお持ちください。





ひろげよう!支え合いの地域づくり 生活支援体制整備事業

あなたの身边にある“地域のお宝” 小さな取組が、やさしいつながりを生んでいます。
ここでは、各地区で広がる支え合いの実践を紹介します。



魚町地区 内湾お茶っこ会

平成29年、市営魚町入沢住宅への入居をきっかけに、住民同士が顔を合わせる場として少人数のお茶会が始まりました。令和6年には「内湾お茶っこ会（サロン）」と名前を改め、地域の集いの場として活動しています。参加者が意見を出し合い、無理のない役割分担で毎週1回集まることが継続の秘訣。お世話役の方々は「これからも笑顔で気軽に集まれる場所として続けたい」と話していました。



新月地区 市営表松川住宅会



「顔の見える関係性をつくりたい」という思いから活動が始まりました。月1回のお茶会を開き、日々のくらしについて気軽に話し合っています。会長を中心に事業計画のアイデアを出し合い、各棟のお世話役が清掃や声掛け、見守りを行っています。発足から3年が経ち、顔見知りが増え、楽しく交流できる場となっています。会長は「今後は若い世代にも会をつないでいきたい」と話していました。

鹿折地区 浪板一ピンポン愛好会

昨年度の鹿折地区卓球大会への出場をきっかけに、運動好きな方が毎週火曜日に定期的に集まり、練習を重ねています。活動後のお茶会も楽しみの一つで、卓球をしない方も気軽に立ち寄り、料理のレシピ交換や旬の話題で盛り上がります。二人から始まった活動は現在十人に。健康増進を目標に、楽しみながら活動を続けています。

